

平成26年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員長	恒石 美登里 先生	日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構・ 主任研究員
------------	-----------	------------------------------

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い

総評（300字以内）

超高齢社会における歯科医師の役割は変化しており、「食べる」ことやQOLの向上、重症化予防等に着眼した視点を持つ歯科医師を増やすことが求められています。また、多くの基礎疾患を持つ患者への対応も増加しており、歯科完結型ではなく、他職種とのチーム医療が求められており、本事業計画は非常に意義深いと思います。歯科の教育改革や医療従事者の育成には、時間も要しますが、今後の成果が期待されます。今後は講演の形式だけでなく、体験型の実習等のフィールドの充実のために歯科医師会や行政と連携し、地域全体における歯科医療提供体制を学び、考える機会を増やすことも重要ではないかと思えます。

**平成26年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	菊谷 武 先生	日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック院長
------------------	----------------	--------------------------------

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	⑤	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	⑤	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	⑤	良い

総評（300字以内）

健康増進や虚弱予防さらには、患者の各ステージに応じて口腔を通じた全身健康に寄与できる歯科医師の育成、また、終末期に寄り添えるプライマリケア歯科医の要請を目途に本事業は実施されている。5年間という短期プロジェクトの初年度としての取り組みとして、主幹校である岡山大学においては、大学病院周術期管理センターを、さらには、鹿児島大学の離島診療などすでに先進的であり様々な実績を示しているフィールドを本事業に活用しており事業効果が望める。また、死生学や認知症の問題への積極的な取り組みも評価できる。大学教育において困難になりがちな在宅歯科医療教育に対するエキスパート歯科医の創設は興味深く成果を期待したい。

平成26年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	東口 高志 先生	日本静脈経腸栄養学会理事長 藤田保健衛生大学教授
-----------	----------	-----------------------------

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	③	・	4	・	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	③	・	4	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	③	・	4	・	5	良い

総評（300字以内）

①事業計画の妥当性は、現在および将来の社会のニーズと照らし合わせ、本事業名に挙げられている「死生学」や「地域包括ケア」の概念や、方法論の確立、浸透および普及という重要な命題において十分に評価できるものと思われる。

②残念ながら事業展開の具体性がやや欠けており、また医科との関わり合いがやや希薄で歯科に重きが置かれている印象をぬぐえない、医科と歯科のバランスを考慮した協働作業を重視して欲しい。

③成果は、シンポジウムや講演会として活発に発信されている。しかし、明確な outcome や評価法の設定がなされていないのが残念である。事業実施前後でどのように何が変化したかを検討されることを希望する。

**平成26年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	葛谷 雅文 先生	名古屋大学地域在宅医療学・老年科学分野 教授・未来社会創造機構教授
------------------	-----------------	--------------------------------------

評価項目	5段階評価						
	悪い	1	2	3	4	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	2	3	4	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	2	3	4	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	2	3	4	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	2	3	4	5	良い

総評（300字以内）

計画に沿った事業が展開されていることは評価できる。また、連携大学とのコンソーシアムの設立も実行され、今後連携大学との教育連携の推進が期待できる。今年度は岡山大学内での教育プロジェクトへの参加者が岡山大学学生に限られていたようだが、今後連携大学の学生の参加、相互報告のやり取りが重要と思われる。

事業費使途に関しては使用明細が不明であり、評価不能。また可能ならばメールでのやり取りだけではなく、外部評価委員会を開いていただけるとより、評価が円滑に進むと思われる。

平成26年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	熊倉 勇美 先生	医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院・顧問 島根大学医学部歯科口腔外科学講座・臨床教授
-----------	----------	---

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い

総評（300字以内）

岡山大学を主幹校とした本選定事業は、誠に時機を得た重要なプログラムと考えられます。事業計画は妥当なものであり、平成26年度報告書には、初年度のスタートの様子が具体的に書かれ、記念講演会やシンポジウムの開催、教員交流、フィールド調査、基盤研究などの開始の状況が良く理解出来ました。医療機関での周術期患者、介護老人保健施設や在宅における高齢者、認知症、脳血管障害・神経筋疾患等の患者、口腔がん術後の患者などの抱える問題は、単体で存在せず、これらの掛け算であることがほとんどであるため、多職種共同による取り組みが重要です。新たな歯学教育の構築に向けて、次年度以降も引き続き努力されることを期待します。